

岡山と中国を結ぶ日中友好のしんぶん

岡山と中国

2024年8月
令和6年8月
281号

信条

この会は思想・信条、政党・政派の違にとらわれない
この会は広く各界各層の日中友好を願う人々の市民組織である

発行所 認定NPO法人 岡山市日中友好協会 〒700-0902 岡山市北区錦町5-15
http://www.oka-rizhongyouxie.jp/ ☎(086) 225-5068 FAX (086) 225-5041
E-mail: oknittyu@yahoo.co.jp 郵便振替 01240-1-8821 加入者名 岡山市日中友好協会

発行人 土井章弘 1部200円 印刷 旭総合印刷株
編集人 松井三平



牛剛副市長より栄誉賞を授与

洛陽市人民政府への表敬訪問は、17日午前行われた。洛陽市からは牛剛副市長を始め、外事弁公室の張曉莉主任、人民代表大会民族僑務外事工作委員会の温向前主任、外事弁公室の白志斌副主任、鄭波対外友好協会秘書長らが出席。
牛剛市長は長期にわたる岡山市日中友好協会の都市間交流への貢献に感謝するとともに、民間交流こそが友好の礎であるという習近平国家主席の言葉を引用して、今後の交流に期待したいと意欲を見せた。
これを受け、土井会長は、牛剛市長らの歓迎と、43年間に及ぶ民間交流への支持と協力に感謝の意を表し、岡山と洛陽は親戚関係にあり、互いに助け合い協力し合っていくことが大切だと強調した。

土井会長ら洛陽市人民政府を表敬

土井章弘会長を団長とする岡山市日中友好協会洛陽市友好訪問団が、7月14日から18日まで洛陽市を訪問した。一行は、宮本光研、黒住昭子副団長を副団長に総勢8名。洛陽市人民政府を表敬訪問し懇談、松井三平専務理事は「洛陽栄誉市民称号」を授与された。洛陽側からは、洛陽-岡山航空路実現のメッセージも呼び掛けられた。また、訪問団は白馬寺や洛陽古琴学会も訪れ、久しぶりの対面交流を楽しみつつ、今後の友好交流を誓い合った。(2面に関連記事)

洛陽市へ友好訪問団

久しぶりの対面交流

7月14日から18日まで。正副会長ら8人



洛陽市政府表敬訪問

付決定宣言書を朗読した。これを授け、松井専務理事が受賞挨拶。自らの気持ちから直接に伝えたいとの思いから中国語でスピーチした。

松井専務理事は、今回の受賞は松井個人への賞ではなく、岡山市日中友好協会への賞であるため、喜んでお受けしたと語り、自らの日中友好活動へのかかわりについて次のように述べた。
1977年に初めて中国を訪問した時に多くの場所で日本軍の残虐な侵略戦争の現場を見聞きした。その反省の上に立ち、生涯を日中友好事業にささげると決意した。
受賞挨拶の後、牛剛市長より賞状が手渡され、授賞式が終了した。

(次ページへ)

地域医療支援病院
公益財団法人 操風会
岡山旭東病院
総院長 土井章弘
岡山市中区倉田567-1
電話 086-276-3231

学校法人 岡山科学技術学園
理事長 瀬戸川 正彦
岡山市北区昭和町八番一〇号
電話(〇八六)二五五-七七一

エヴァホール

電話(〇二二〇)〇五一-〇〇〇

(株)アジア・コミュニケーションズ
代表取締役 松井三平
岡山市北区錦町五-1-5 南田辺ビル四階
電話(〇八六)二三三-1103
FAX(〇八六)二三三-1104

旭総合印刷株式会社
代表取締役社長 大松康彦
岡山市北区内山下二丁目一〇-1
電話 二三二-1331-1

2024 暑中
お見舞い申し上げます
《50音順》



挨拶する土井会長



白馬寺印楽方丈から書をいただく宮本光研榮譽住職



宮本光研作詞の「日中友好のうた」披露

(前ページより)
洛陽市友好訪問団は、15日洛陽入りし、早速、老朋友を招いての昼食会に臨んだ。

嶋一徹岡大教授は緑化の現地調査へ

元外事弁公室主任の方双建さん、通訳役として活躍してくれた于愛紅さん、バックヤードで交流を支えてきた蔣崇揚さんとと尽きることなく談笑。

午後からは、世界遺産の龍門石窟へ見学に向かった。また、本団と一緒に洛陽入りしていた岡山大学の嶋一徹農学部教授らは、昨年度から伊川県で始まった(公財)日中友好会館助成による日中緑化事業の現地調査を実施する

ために現場へ向かった。それぞれの活動をした一行は、洛陽市外事弁公室の関係者を招待しての夕食会に臨んだ。

黒住教吉備楽と洛陽古琴学会交流

この6月に外事弁公室主任兼洛陽市人民対外友好協会会長に就任した張曉莉さんをはじめ、旧い友人である蔡志副主任、白志斌副主任、鄭波対友協秘書長らと親しく歓談した。

席上、日本側は宮本光研作詞、松原徹作曲の「日中友好のうた」を披露し、拍手喝采をうけた。

「大日如来教本」を白馬寺へ一式贈呈

続いて、今回の重要な目的の一つである白馬寺への参拝交流に向かった。境内周辺では大規模改修工

の黒住教吉備楽とも交流のある洛陽古琴学会の主催による歓迎演奏会に参加し、あと昼食会に招かれた。その後、洛陽博物館へ行き、名誉館長の王綉画伯と再会。丁度、王綉牡丹画特別展を開催しており、王先生自ら案内頂いた。まだ青年画家だったころ、岡山高島屋で牡丹画展を開催した事を何度も感謝された。それが今や中国を代表する牡丹画家となっていた。

事が行われており、近くに車を停車し、山門まで歩いた。山門では印楽方丈がお出迎え、友好寺として長く交流している長泉寺の宮本光研名誉住職との再会を果たした。本堂で、宮本名誉住職と今回随行していた寺僧の井上弘基さんが導師となりお経をあげ、団員も参列した。方丈の部屋でお茶や果物のご接待をいただいた後、長泉寺から白馬寺へ大日如来教本一式が贈呈された。

翌17日の午前、一行は定鼎門を見学した後、洛陽市人民政府への表敬訪問に向かった。最終日は、鄭州に移動して航空上海へ向かう予定だったが、豪雨で鄭州空港がほとんど離発着できなくなり、航空機がキャンセルされたため、急遽高速鉄道で上海へ向かうこととなり、上海で一泊し、翌日の岡山便で帰岡した。

<p>2024 暑中 お見舞い申し上げます</p> <p>《50音順》</p>	<p>岡山県日中教育交流協議会 会長 鍵本芳明</p> <p>〒700-0902 岡山市北区錦町五-1-15 電話(086)225-1508 FAX(086)225-1504</p>	<p>専門学校 岡山ビジネスカレッジ 校長 西崎誠</p> <p>岡山市北区岩田町三-1-1 電話 223-1134 FAX 223-1136 http://www.obcnet.ac.jp E-mail: obc@obcnet.ac.jp</p>	<p>黒住教 教主 黒住宗道</p> <p>〒701-1222 岡山市北区尾上神道山 電話(086)284-1222 (代表)</p>	<p>下津井電鉄株式会社 代表取締役会長 永山久人</p> <p>岡山市北区大元駅前三-1-6 電話(代表) 233-1881</p>	<p>株式会社 田辺産業 代表取締役 田邊繁之</p> <p>岡山市北区錦町五-1-5 電話 225-1491</p>
---	---	--	---	---	---

◎第3回 日中友好バドミントン大会◎

《主催・岡山市日中友好協会青年部「水密会」》



岡山市日中友好協会青年部水密会主催の第3回日中友好バドミントン大会が、7月6日、岡山市北区谷万成の北ふれあいセンターで開かれた。参加したのは、岡山大学に留学している中国人留学生を中心に、日本人大学生も加わった14人。

水密会主催のバドミントン大会は定期的に開かれており、今回で3回目となる。(写真は参加者の皆さん)

「内山完造研究の新展開」出版祝賀会

孫教授、内山籬氏、大里氏ら集う 出版への思い語り合う

「内山完造研究の新展開」(東方書店)の出版を祝う会が、5月25日、横浜市の神奈川大学みなとみらいキャンパスで開かれた。同書は、今年3月末に出版され、今回、執筆者や研究者、大学関係者らが集い祝う会を開いたもの。主な出席者は、神奈川大学

(以下、神大)関係では、孫安石教授、内山書店関係では内山籬氏(内山書店・内山完造氏の甥)等、それに柳澤和也氏(神大教授)、川崎真美氏(東大大学院専門職員)、神戸量吉氏(田口参天堂創業者曾孫)、松井三平氏(岡山市日中友好協会専務理事)が集まり、オンラインで大里浩秋

氏(元東大教授)も参加。ほとんどの執筆者が参加した。出版社の東方書店からは編集担当の家本奈都さんが駆け付けていた。会では参加者がそれぞれ今回の出版に対する思いを語った。その中で、内山籬氏は、このように内山完造が研究対象として本になり立派な装丁で出版されたことは身内の者として大変嬉しく、完造も喜んでいることだろうとしみじみ語った。

コラムに執筆した松井氏は、この本が研究者のみならず、広く一般人にも読まれるように工夫されていることが素晴らしいと、岡山でも広めていきたいと意欲を述べ、6月1日に開催される友好協会の「内山完造研究会」で披露すると表明した。参加者は、キャンパス内のラウンジで乾杯し、出版を祝った。また、大学のエンターランスでは、本にも収められている内山完造写真一代記のパネル展示が開催されていた。

《第7回 西日本地区日中友好交流大会》

8月30日 岡山・ホテルグランヴィア岡山

第七回西日本地区日中友好交流大会が、8月30日午後3時から同7時半まで、岡山駅前ホテルグランヴィア岡山で開かれる。

館と西日本地域の日中友好協会。岡山市日中友好協会も加わっている。今回は、特に日中青少年交流を前面に打ち出しており、

都市の高安市(浅口市)鎮江市(倉敷市)九江市(玉野市)などからの友好都市関係政府代表者らが出席する予定。日本側は、岡山県知事や岡山市長、友好都市関係市町代表者、岡山大学、岡山理科大学など大学関係者ら。

レセプションは午後5時15分から行われ、和太鼓演奏などもあり、懇談、交流する。岡山市日中友好協会では、多くの会員の参加を呼び掛けている。参加申し込みは協会事務局まで。

交流大会が大阪以外の都市で開かれるのは、昨年の香川大会(高松市)に続いて2回目。岡山では初の開催となる。参加費は無料で、約800人の来場を目指している。

中国側からの参加者は、中国大使や駐大阪総領事、友好県内の日中友好協会関係者

がペアになるようにダブルスの組み合わせをし、競技を開始。会場には、和気あいあいのにぎやかな声援があふれ、良い国際交流になっていった。

ふるって参加を!

参加費無料



「完造も喜んでくれるだろう」と乾杯!

2024 暑中 お見舞い申し上げます

《50音順》

<p>株式会社 中外燐寸社</p> <p>代表取締役 田中礼一郎</p> <p>岡山市南区浦安南町五五〇</p> <p>電話 二六三一―二二四五</p>	<p>洛陽に縁結んで半世紀</p> <p>松井三平氏功績大いなり(祝詞)</p> <p>協会副会長 宮本光研</p> <p>〒七〇〇―〇八〇七 岡山市北区南方三―一〇―四〇</p> <p>電話(〇八六)二二二二―一七四五〇</p>	<p>株式会社 トマト銀行</p> <p>取締役社長 高木晶悟</p> <p>岡山市北区番町二―三―四</p> <p>電話(〇八六)二二二二―一〇一〇</p>	<p>株式会社 レイ</p> <p>ANAクラウンプラザホテル岡山</p> <p>取締役 岡崎登</p> <p>岡山市北区駅元町一五―一</p> <p>電話 八九八―一―一一</p>
--	---	---	---

中国の古今東西をたずねる講座 第2回

「鬼子医師」の鑑賞と日中友好を語る会

《OHK岡山放送制作TVドキュメンタリー(2011年放送)》
山崎宏医師の一生の足跡をたどる



黒住昭子副会長の挨拶



生前の山崎医師



熱心に意見交換する参加者

中国の古今東西を訪ねる講座・ドキュメンタリー「鬼子医師」の鑑賞と日中友好を語る会が、7月13日、岡山市北区の岡山国際交流センターで開かれた。

このテレビドキュメンタリーは、岡山放送が2011年現地取材して自主制作、放送したもの。「鬼子医師」とは、中国山東省済南で102歳で

亡くなった山崎宏医師のこと。山崎さんは、真庭市出身で、第2次大戦中は軍属として中国にわたり、現地での日本軍の蛮行を目の当たりにし、敗戦後は敗戦を悔いて帰国せず、生涯を贖罪と中国人への奉仕のために尽くそうと決意。

済南に居を構え医師として過ごし、2010年12月、102歳でなくなっている。遺体は中国紅十字会を通じて献体されている。

岡山放送の取材には、岡山市日中友好協会も、現地取材を含め協力した。

語る会には、当協会会員や関係者、それに中国からの留学生も含め約30人が参加。岡山放送からは、同番組を制作した河原大氏が、当時の思い出などについてメッセージを

活動日誌

3/29...「岡山と中国」3月号発送(協会)

3/31...天津市訪問団(4/4)土井会長、森田・黒住副会長、松井専務理事

4/10...故赤木宣雄元理事お参り(赤木邸)

4/18...西日本交流大会会議(広榮堂武田)総領事館・県日中・市日中参加

4/22...市教育委員会指導課来局(協会)

4/23...国際協力研究所岡山竹島代表理事来岡(協会)

5/8...洛陽市第16次人民代表大会常務委員会第11回会議でタイ籍華人李紹祝氏と当協会の松井三平専務理事が洛陽市榮譽市民称号授与が決定

5/11...県日中教育交流協議会総会・理事会開催。鍵本芳明氏を新会長に選出(県生涯学習センター)

5/20...県高文連会長を訪問、西日本交流大会協力依頼(総社南高)

5/25...『内山完造研究の最新展開』(岩波出版)記念会開催。松井出席(神奈川大学)

5/30...玉島商業高校(二木信輔校長)訪問、西日本大会和太鼓出演要請(玉島商業)

6/7...「岡山と中国」8月号編集会議

6/17...環太平洋大学訪問。西日本大会協力及び協会の紹介(国際センター長)

6/19...西日本大会打ち合わせ。総領事館、県・市日中(協会)

7/6...水密会第3回日中友好バドミントン大会(北ふれあいセンター)

7/13...第二回古今東西の会『山崎宏ドキュメンタリー鑑賞と日中友好を語る会』(国際交流センター、約30名)

7/14...岡山市日中友好協会洛陽市友好訪問団出発(7/18)

7/14...伊川県白砂鎮緑化事業現地調査。岡大嶋教授(17)

5/20...県高文連会長を訪問、小職の名前で頂いた「洛陽市榮譽市民称号」授与式の受賞スピーチを、中国語でダレクトに伝えたくて草案を練っていた時のことだった。

「後勤」に比べて「幕後」は舞台監督のような役割で、今回の受賞はそこに光が当てられたのですよと褒められたは即ち、協会の43年間の活動そのものであり、授賞式でも申し上げた通り、個人の評価ではなく、協会の活動への評価と受け取って、素直に嬉しく思った。同時に受賞したタイ国籍の李紹祝さんのように、4千数百万円もの巨額の投資で洛陽経済発展に貢献した華人と、しかも同列で社会発展への貢献として評価頂いた洛陽市のご勇断に敬意を表します。改めて感謝申し上げます。改めて感謝申し上げます。さて、これからの日中交流について、これまでの交流の手法、方法など、ここ数年で大きく変わってきた。我々もこの現実に対応しないといけない。対外友好協会の役割も変化して来ている。とは言え、こちらの積極的な働きかけと、推進していく強い意志とがあれば友好の扉は開けてくるだろう。今回の「榮譽」を単なる「名譽」に終わらせず、次へのエネルギーとするため、会員の皆さんや若い人たちが共有して、次の交流につながるために、具体的な方法と経験を交流していく日日(日本人同士)の友好も求められている。(松)

追悼 少林寺 赤木宣雄さんを偲ぶ

心遣いが嬉しかった... 松井三平

岡山市日中友好協会の元理事、赤木宣雄さんが、令和6年3月25日、逝去されました。享年74歳。葬儀はご家族のみで行われ、神道の50日祭として、協会の友好活動にも積極的に参加されました。

内山完造研究にも熱心に取り組み

特に、内山完造の資料、書籍収集と研究には熱心に取り組みられていました。

武道家らしく気骨な面があり、理事会でも筋の通らない案件には厳しく反論されていました。ある時、役員案件で「松井が事務局長としての肩書しかないのはおかしい」とし、当時の会長や役員を説いて回り、専務理事という役職を提案して頂いたことがありました。

私としては、気恥ずかしい気もしたのですが、その心遣いに対し本当に嬉しかったのを覚えています。平成27年度の総会の議長を終えた後、一週間もたたないうちに脳梗塞で倒れられ、長い闘病生活を経て本年旅立ちました。

療養中、洛陽の白馬寺の印象が鮮明に訪れた時は、本音が舞いに訪れた時は、本当に嬉しそうでした。また、奥様によると、協会会報が来るたびに、じっくりと見られており「分かっているのだから」と微笑まれているのを見て、「分かっているのだから、印象的でした。赤木さんの志を受けて、生涯日中友好に貢献することを誓います。安らかに眠りください。(専務理事 松井三平)

先憂後楽

「幕後工作」と「後勤工作」は意味が全然違いますよと、いつも中国語でご指導頂いている老師から指摘された。今